

平成 18 年度(第 10 回)成果発表会アンケート集計結果

実施日:平成 19 年 1 月 25 日(木)

発表内容:[金属資源レビュー]

- (1) 2006 年世界の非鉄金属の趨勢について : 澤田賢治
- (2) 主要資源国の鉱業政策(フィリピン、インドネシア) : 神谷夏実

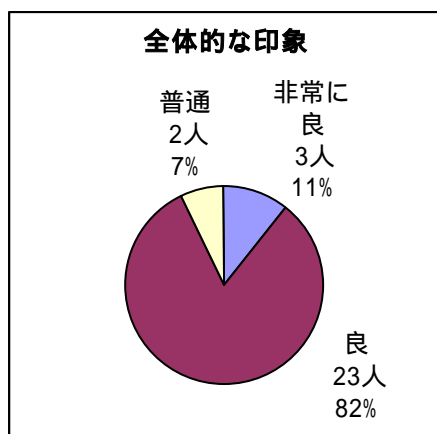
【深海底鉱物資源探査の成果】

- (3) JOGMEC が実施している深海底鉱物資源調査 : 菱田 元
- (4) 日本近海で実施している大水深基礎調査の現状 - 最近のトピックス - : 棚橋道郎
- (5) 日本近海の海底鉱物資源賦存状況調査
 - ・マンガン・クラスト(公海上と経済水域における調査の現状)
 - ・海底熱水鉱床(経済水域に眠るベースメタル資源) : 柴崎洋志
- (6) 海外の深海底鉱物資源開発を巡る動向
 - 非鉄メジャーの投資による海底熱水鉱床探査が本格化- : 岡本信行
- (7) コバルト・リッチ・クラスト調査の現状と課題 : 菱田 元
- (8) コバルト・リッチ・クラストの開発に向けての取り組み
 - (1) コバルト・リッチ・クラストの選鉱 : 伊藤真由美
- (9) コバルト・リッチ・クラストの開発に向けての取り組み
 - (2) コバルト・リッチ・クラストへのバイオリッチング適応性検討 : 小西康裕

外部の参加者数:55名

アンケート回答数:34件

発表会に対するご意見



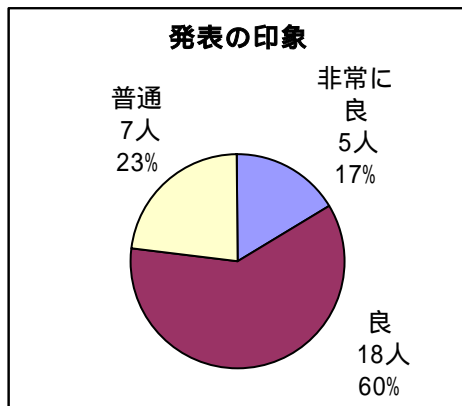
発表会に対するご意見

- ・今日、海洋基準法が国会に提出されたと聞いて、この発表会がタイムリーに開催され、今後も政策のマスタープランを策定して欲しい。
- ・(3)～(7)のテーマについて、互いに関連付けた発表があれば、海洋資源全般がより理解しやすい気がする。
- ・深海からの採鉱はまだまだという印象をもった。
- ・深海鉱物資源がメインテーマなので、2006年の趨勢も深海資源とどうかわるか、次の鉱業政策も、海洋法説明などメインテーマとリンクさせたテーマにすべきであった。多くの人が深海目当てで来られていた。
- ・何故/ジュールができるのか、もう一度おさらいが欲しかった。
- ・今回は技術的なお話が多く、少々難しかった。

個々の発表の良かった点・悪かった点

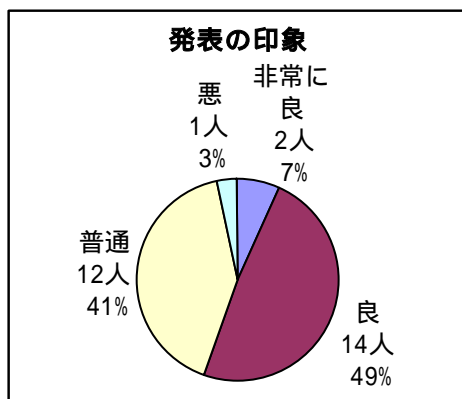
【金属資源レビュー】

(1) 2006年世界の非鉄金属の趨勢について



- 良かった点
 - ・新聞等では判らない所が良く判った。
 - ・2006 がよくまとまっている。
 - ・統括的に最近の動きをまとめて頂いて参考になりました。
 - ・全般状況が良くまとめていただいた。
 - ・概観できた。
- 悪かった点
 - ・2006 がよくまとまっている反面、それ以外が無い。質問には答えていた部分もあった。
 - ・何故金属の単価が上がるのかの説明がなかった。何故 2005 から上昇したのか不明。もっと古い時代からの変化が欲しかった。データソース教えてほしい。

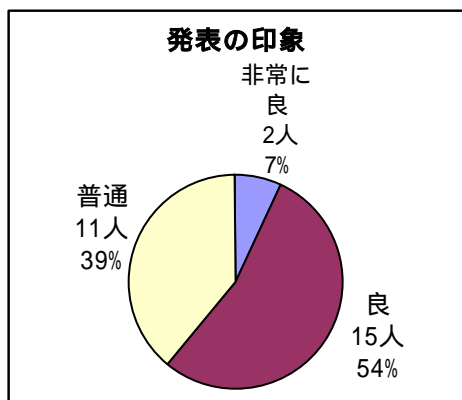
(2) 主要資源国の鉱業政策(フィリピン、インドネシア)



- 良かった点
 - ・LDC においても資源開発・確保に苦勞しているのが理解できた。
 - ・一応まとめた政策などの理解。
 - ・各国の特徴と傾向がよくまとめられている。
 - ・各国の状況が良く理解出来た。
- 悪かった点
 - ・資料にもう少し正確さが欲しい。
 - ・中国、ロシア、モンゴルの話が聞きたかった。

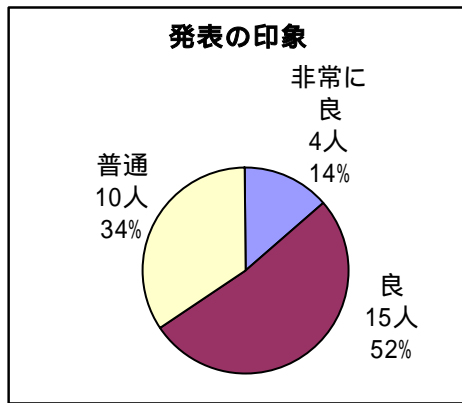
【深海底鉱物資源探査の成果】

(3) JOGMEC が実施している深海底鉱物資源調査



- 良かった点
 - ・船の運航業務を担当して詳細を理解していなかったが良く判った。
 - ・まとめた現状理解。
 - ・新しい情報が得られた。
 - ・当初からの推移などが簡潔にまとめられていた。
 - ・JOGMEC の深海底鉱物資源調査が理解出来た。
 - ・現状が判った。
- 悪かった点
 - ・少し説明が早すぎる。時間の関係とは思いますが。

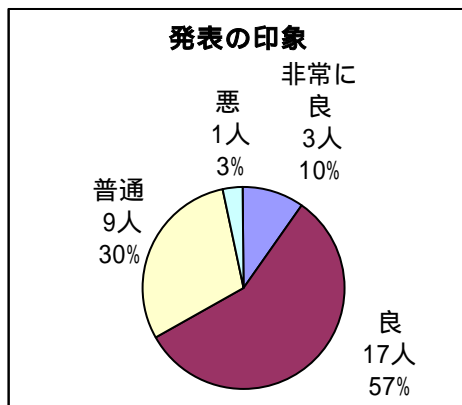
(4) 日本近海で実施している大水深基礎調査の現状 - 最近のトピックス -



- 良かった点
 - ・判り易くまとめられており、マスコミ等に発表したら国民も興味を持つと思われる。
 - ・非常にスムーズな分かりやすい説明であった。
 - ・JOGMEC の深海底鉱物資源調査が理解出来た。
 - ・概観できた。
- 悪かった点
 - ・幅が大きく個々のつながりが今一つ。
 - ・時間配分が少なすぎるのでは？
 - ・掘削水探は・・・ピンと来なかった。

(5) 日本近海の海底鉱物資源賦存状況調査

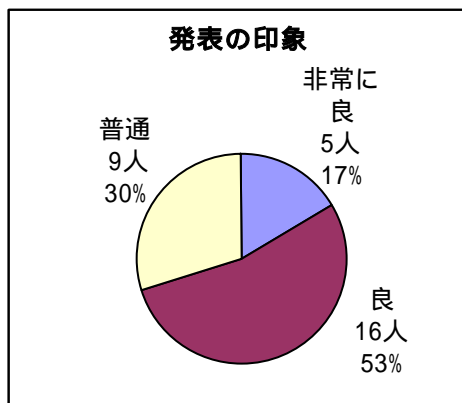
- ・マンガン・クラスト(公海上と経済水域における調査の現状)
- ・海底熱水鉱床(経済水域に眠るベースメタル資源)



- 良かった点
 - ・S50年からの蓄積が、開花するのも間近な感じがした。
 - ・熱水鉱床に関する最新の情報が分かった。
 - ・JOGMEC の取り組みが理解出来た。
 - ・概要が判った。
- 悪かった点
 - ・幅のあるテーマで時間が短かった。
 - ・ただ説明が早すぎる。

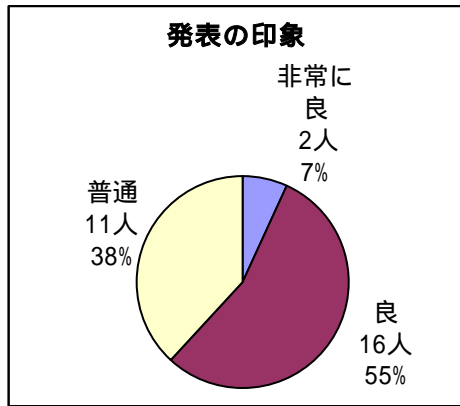
(6) 海外の深海底鉱物資源開発を巡る動向

- 非鉄メジャーの投資による海底熱水鉱床探査が本格化-



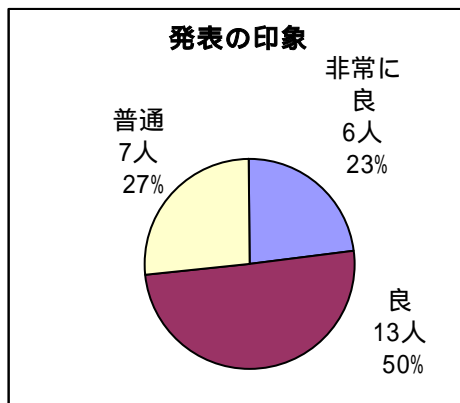
- 良かった点
 - ・先願主義というが外国企業に盗られないよう注意。
 - ・最近のニュースを理解。
 - ・外国の動きがわかり、今後の動向の参考になった。
 - ・海外メジャーの動きの早さに驚いた。やはり財力が大きいものとお考える。
 - ・良く全体、現状をまとめていた。
- 悪かった点
 - ・(疑問)問題はいかに採鉱(大量)する技術を確立するかではないでしょうか？地上の低品位鉱の採鉱とのコスト比較でしょうね。

(7)コバルト・リッチ・クラスト調査の現状と課題



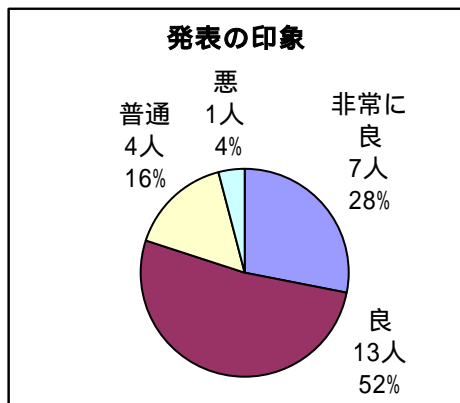
1. 良かった点
 - ・今後も継続すべき。
 - ・現状理解。
 - ・国際海底機構の状況が分かりました。
 - ・公海上を優先して探査を行う方針は納得。但し海外メジャーとの戦力の差が極めて大きいと感じた。
2. 悪かった点

(8)コバルト・リッチ・クラストの開発に向けての取り組み
(コバルト・リッチ・クラストの選鉱)



1. 良かった点
 - ・技術的に新しいものを勉強できた。
 - ・商業化への難しさが良く判った。
 - ・処理工程の理解。
 - ・資料も良く整理されていて分かりやすい。説明のやり方も判り易い。
 - ・粘り勝ち。
2. 悪かった点
 - ・新しい点がよく分からない。

(9)コバルト・リッチ・クラストの開発に向けての取り組み
(コバルト・リッチ・クラストへのバイオリッチング適応性検討)



1. 良かった点
 - ・技術的に目新しく面白かった。
 - ・生物・化学の融合により、良い手段が見つかれば幸いと思う。
 - ・最近技術の理解。
 - ・還元細菌のことを知ることが出来て良かった。
 - ・すばらしい method であった。
2. 悪かった点
 - ・採 選 リーチング 湿式連続とならないか。

JOGMECの情報収集事業につきまして、ご意見、ご要望がありましたらお書きください。

海洋開発は、長期的視点に立ち、資源エネルギー政策を推進させ、広報にも力を入れて欲しい。

下記の二つの内容についての情報収集と説明会を。

他国やUNに関する情報の集約を望みます。

レアメタル供給源の多様化・確保という切り口からの報告を拝聴したい。未開発の国、海底鉱床、国内鉱山。

民間を含む他の組織の方のお話も伺いたい！

その他、JOGMEC に対して、ご意見、ご要望がありましたらお書きください。

この成果発表会にて、最新の鉱山・精錬技術の動向と概要、そして 廃棄製品からの金属回収(H19 年度予算要求の中に計上されておりました。まだ途についたばかりかと思いますが、周辺状況を含めてご説明頂けると有り難いです)を取り上げて頂けたらと思います。次元は低いのですが、宜しくご検討下さい。

OHP はスクリーンに投影していただきたい。

熱水鉱床の環境をやりましょう？

採鉱方法の研究は、どうなっていますか。

以上